

運河と遊ぶ

大岡川下流域は海水と川水が混じり合う「汽水域」と呼ばれる、多くの水辺の生物が生息するエリアです。ここでは水辺の生物を大切にしながら、いろいろな遊び方ができる場所でもあります。

川沿いの四季

大岡川の四季は桜から始まります。上流の弘明寺付近から下流域には約700本の桜が植えられています。その多くは日本の桜の代名詞ソメイヨシノです。近年、病害に強い新しい品種のジンダイアケボノに植替えが進んでいます。夏になると、大岡川河口付近が開港祭や花火でにぎわいを見せます。また屋形船の納涼船が水辺の景色を彩る季節です。秋は流域で様々なお祭りやイベントが開催される季節です。9月15日は吉田新田総鎮守のお三の宮日枝神社大祭が開催されます。11月に開催される「よこはま運河チャレンジ」も秋の大岡川を彩ります。冬には澄んだ空気を活かした光まばゆいナイトプログラムやSUPするサンタたちが大岡川をパレードするイベントが開催されます。お正月は流域の寺社に初詣。「うんが開ける」かもしれませんよ。

春



夏



秋



冬



橋巡り

大岡川運河エリアには約55の橋があります。これらの橋に毎年数枚づつ「運河伝承サイン」を設置しています。中には歴史ある橋も多く架かっていますので右図を手がかりに川沿い散策と橋巡りと伝承サイン探しもお勧めします。

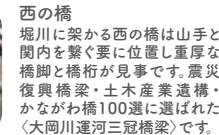


運河伝承サイン
弁天橋脇に設置されている「弁天橋」サインです。橋への思いが書き込まれています。一般的には四隅にある親柱デザインは橋ごとに異なりますが中でも弁天橋は特徴的です。謎解きヒントが伝承サインにあります。

浦舟水道橋
赤い橋柱が印象的なこの橋は素材を再使用（リユース）したものです。船上クルーズから見る橋の中でも人気があります。リユースの謎、これも伝承サインに注目してください。



西の橋
堀川に架かる西の橋は山手と関内を繋ぐ要に位置し重厚な橋脚と橋桁が見事です。震災復興橋梁・土木産業遺構・かながわ橋100選に選ばれた（大岡川運河三冠橋梁）です。



長者橋
歴史的建造物に認定された復興橋梁で初代は吉田新田の完成時に架橋されました。現存する数少ない鉄筋コンクリートアーチ橋の一つで優雅な曲線が景観に調和しています。



運河で発見

運河で出会える様々な生き物たち

意外と知られていない運河の生き物たち。多種多様な生き物がこの運河には見られます。水中に目を凝らすと、スズキや黒鯛、エイなんか見つかりますよ。



マハゼ



カルガモ



クサガメ



カワセミ



アカエイ



スズキ



カワウ

水上アクティビティ

横浜SUP倶楽部



毎日SUPできる環境づくりをテーマに活動しています。みなとみらいクルーズを楽しめるSUPスクールやレース、イベントなどを通してSUPの楽しさを伝えと共、フィットネススポーツとしてSUPを日常に取り入れた新しいライフスタイルを提案します。



NPO法人 横浜シーフレンズ



横浜みなとみらいインナーハーバーを主な活動拠点として、シーカヤックなどのマリナクティビティの普及活動を行う団体です。帆船日本丸シーカヤック教室や大学シーカヤック実習など、様々な活動を展開しています。



SUP、シーカヤック、Eボートで大岡川からみなとみらいへ

一般社団法人 水辺荘



横浜みなとみらいや大岡川でSUPツアーなら、水辺荘へ。初心者でも「港町「横浜」」の景観が楽しめるSUP体験として、クルーズやツアーを開催しています。各種会員制度あり



大岡川桜棧橋E-boat Club



10人乗りのEボートで大岡川桜棧橋を中心に活動するクラブです。地域に根差した活動や、川やボートに親しんでもらうための体験イベント、そして月に1度の大岡川の清掃活動を実施しています。



運河を使う

運河クルーズ

大岡川と河口域を巡る舟をチャーターしてみませんか？舟の大きさで、運航コースも変わりますが、一隻貸し切りも仲間が集まればリーズナブルです。



かなえ号



ジェットセイラー



屋形船



ベネチア号



ロサ・アルバ



ステラマリス

運河での活動

◆リパークリーン

横浜の河川有効活用のため、大岡川のSUPやEボートでの清掃活動、その川岸の美化活動を毎月第3土曜日に桜棧橋にて行っています。



◆大岡川運河の水質について

大岡川水系の水源域から河口域までの4カ所について、年に2回の水質検査を実施して公開しています。とても良好な水質であることがわかっています。特別協力：株式会社オオスミ



◆防災と運河

運河は災害時にも活躍が期待できます！普段から運河を使った防災訓練をすることで、いざという時に備えています。初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会による防災炊出し訓練を活動中。また大岡川・中村川の河川を活用した防災物資輸送の実践を行っています。



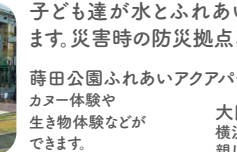
◆運河安全対策

大岡川下流域での動力船（大型船、観光船、水上バイク等）と非動力船（SUP、カヌー、Eボート等）が安全に安心して航行できるように、適切な航行速度や走行方法等のルールを策定し、周知しています。また、水難救助訓練等の実証実験も実施しています。一般社団法人 大岡川運河駅運営委員会



運河とのふれあい

子ども達が水とふれあいながら遊び学べます。災害時の防災拠点としても利用します。サ田公園ふれあいアクアパーク
カヌー体験や生き物体験などができます。



棧橋紹介

いまこの運河には棧橋が相次いで建設されています。潮の満ち引きに合わせて動く「浮棧橋」と、頑強に作られた「固定棧橋」があります。2025年秋（予定）には中村川で初めて、JR石川町駅前に新しくバリアフリーの浮棧橋が運用開始。ますます水上の交通やアクティビティが盛んになるでしょう。



大岡川桜棧橋



横浜日ノ出棧橋



みなとみらいふかりさん橋



大さん橋ふ頭ビル前棧橋



堀割川いそご棧橋



新港ふ頭棧橋



石川町棧橋（仮称）2025年秋竣工予定